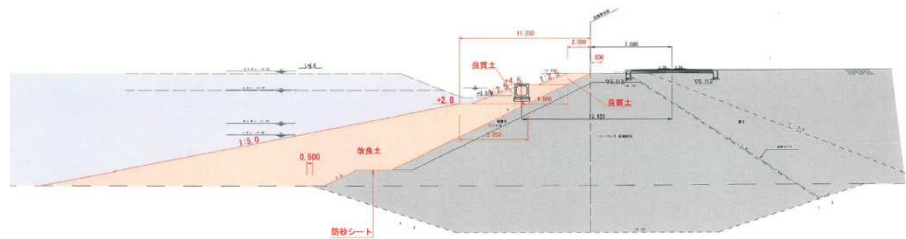


浚渫土処理・有効活用技術

技術分類	分級・ 安定処理 ・有害物質除去・その他
技術の名称	LMP工法(ランプ工法)
実用化の状況	技術開発中・実証試験中・ 実用化済み
技術の概要	<p>LMP工法は、空気圧送中の浚渫泥土に改良材を添加・混合することにより、埋立地の利用に必要な地盤強度を与え、浚渫工程終了と同時に供用を開始することができる工法です。また、強固な地盤から作業性を確保する程度の改良まで、利用目的に応じて改良材の種類と添加量を選択し、強度を調整することができます。このため埋め立て後の地盤改良を大幅に削減します。</p> <p>原理的には、配管内にくさび状のじゃま板を設け、確実に改良材と浚渫泥土の確実な混合ができるようにしたものです。</p>
	
特長・メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・管内を移動する流体エネルギーを利用した混合方式のため、経済的な混合が可能です。 ・LMP型ラインミキサが混合効率を飛躍的に高めます。 ・埋立地盤が必要とする強度に応じて改良材の種類、添加量を調整することにより、確実な改良が可能です。 ・改良材スラリープラント、添加設備およびラインミキサユニットのみで構成された簡易な設備で施工します。
留意点・課題	特になし
特許等	特になし
関連する資料	http://www.toyo-const.co.jp/technology/633.html
適用実績(事例)の概要	<p>管内での攪拌状況</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>事例は次頁参照</p>
問い合わせ先	〒135-0064 東京都江東区青海二丁目4番24号 東洋建設(株) 土木事業本部 機械部 TEL : 03-6361-5462

工事概要：本工事は、A 港泊地浚渫に伴う浚渫土をセメント改良し、埋立を行うものである。

施工数量：19,400m³



改良土施工断面

施工事例



空気圧送船及び海上配管



LMP工法によるセメント添加



陸上配管状況



埋立状況（配管からの吐出）